

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.22

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626



記念撮影に収まる表彰議員ら

赤嶺議員が永年在職議員表彰

在職25年を迎えた議員に国会から送られる永年在職議員表彰。この度、赤嶺議員が表彰されました。慣例により、表彰議員の年長者が代表して本会議で謝辞を述べます。今回、表彰を受けたのは14人。赤嶺議員が代表して謝辞を述べました。(本文は2、3面に掲載)

赤嶺議員に感想を聞きま

した。
——永年在職議員表彰おめでとございます。

赤嶺 ありがとうございます

ます。沖縄県が国政選挙権を得たのが、復帰前の1970年と遅かったこともあり、県選出議員では私で二人目です。瀬長亀次郎さん、古堅実吉さんとい

いできた党の議席は55年

になります。日本共産党からは塩川鉄也議員と私の二人が表彰されました。

——衆議院事務局から代表謝辞の話があった後、しばらくの間、躊躇されていたと聞きました。

赤嶺 はい。しかし、これは私への表彰ではなく、25年間、たまたかい続けてきた沖縄県民への表彰であり、

県民のたたかいを国会で訴えることが私の重大な任務だと思つて引き受けました。たしかに辺野古新基地建設や南西諸島の軍事要塞化に反対する県民のたたかいにふれられていました。

赤嶺 謝辞では、私自身の生い立ちに重ねながら、戦争直後の沖縄の様子や米軍統治下の不条理について話しました。当時を生きた県民なら誰もが経験していることです。そうした県民共通の歴史的体験のうえに、今の辺野古や軍事要塞化に反対するたたかいがあることを訴えたかった。

——赤嶺さんの謝辞を聞いた人から党派を超えて反応があったと聞きました。

赤嶺 ある他党の新人議員の方からは、「謝辞を通じて沖縄の歴史を知りました」と声をかけられました。これからも「沖縄の平和の心」を訴え続けていきたいと思っています。

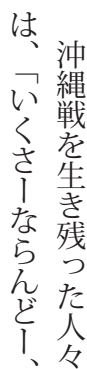


じいじいの在職25年の代表謝辞を孫は傍聴席で家族と一緒に聴いていた▼じいじいの演説も力が入った。辺野古のくだりで自民党席からは拍手が起った。以下は孫の作文を紹介する

▼じいじいの25年——国会で、じいじいの2000年から2025年までの25年間でしようをもらつて25年間のことをはつびようしてじいじいとうからブーイングもあつてはつびようもすこしきんちようしていたと思ひました▼ぼくが生まれる前から同じことをやるつてすごいと思いました▼インターネットはいしんでぼくがうつていました。

日本共産党 赤嶺政賢

私の原点は、基地のないは、「いくさーならんどー」



を願った祖国復帰闘争は、沖縄と本土の連帯した闘いで沖縄の施政権返還を勝ちとることが出来ました。ところが、その後、日米安保条約が沖縄に適用され、広大な米軍基地は復帰前と変わらず存在し続けています。

『琉球新報』



本会議場で謝辞を述べる赤嶺議員（演壇中央）

軍事優先の異常な社会は
変えなければならない

した。

米軍基地あるが故の事件・

私は当選以来、普天間基地の無条件返還を求め、辺野古新基地建設を押し付ける政府と論戦を重ねてきま

事故が繰り返され、憲法の上に安保条約・地位協定があり、県民の人権が蹂躪される軍事優先の異常な社会は変

えなければなりません。

ところが政府は、繰り返し示してきた民意も、地方自治も、法律さえもふみにじり、新基地建設を強行していきます。これに対し県民は、保守・革新を超えた団結で翁長県政を誕生させ、私を四回連続で小選挙区沖縄1区からオール沖縄の代表として国会に送り出してきたのであります。

オール沖縄の団結は沖縄の平和の心が一つに結ばれたもの

オール沖縄の団結は、沖縄戦や米軍統治、その後も続く米軍支配に抗う沖縄の平和の心が一つに結ばれたものです。

私は、命どう宝の平和の心を掲げ、辺野古新基地建設、南西諸島の軍事要塞化を許さず、基地のない平和で豊かな沖縄をめざし、県民とともにたたかい続ける決意です。

以上を表明し、謝辞と致します。

(2025年3月25日)

牛島司令官の「辞世の句」再掲載を追及
中谷防衛相の「辞世の句」『平和願う歌』に対し、
地元紙（沖縄タイムス）が社説で批判

赤嶺議員は、4月18日の衆院安全保障委員会で、陸上自衛隊第15旅団が旧日本軍第32軍牛島満司令官の「辞世の句」をホームページに再掲載した問題について質問。中谷防衛相は、「これからの平和をしつかりと願う歌」と自身の解釈を述べ、ホームページから削除しないと答弁。

「赤嶺議員は「死んで強い」と。赤嶺議員は「死んで皇国に尽くせ」という歌で、平和の歌ではない」とあらためて批判。「あまりにも身勝手な解釈で県民が受けた犠牲に対して何の反省もしていない」、「6月23日の慰霊の日式典に出る資格さえない」と糾弾しました。

赤嶺議員は、「県民から批判の声が上がっているにも関わらずなぜ再掲載したか」と追及。中谷防衛相は、「牛島司令官、旧軍の評価はさまざまな意見がある」「平和をねがっ

4月21日の『沖繩タイムス』社説は、「度が過ぎるこじつけだ」との見出しで「地元根ざした組織を目指すというのであれば、掲示を取り下げるべきだ」と批判しています。

[illegible]

『沖縄タイムス』

この間の活動

■ 辺野古新基地建設の工事中止と普天間基地の無条件撤去を求める署名提出集会に出席(3月5日)



- 国民春闘共闘・全労連・東京春闘共闘・全国食健連・建設アクションの請願デモを激励(同6日)
- 「ゆきとどいた教育を求める全国署名」提出集会で挨拶(同7日)
- 沖縄北部豪雨被害の調査で国頭村比地区の区長から聞き取り(同8日)
- 安保破棄中央実行委員会全国代表者会議で報告、沖縄等米軍基地問題議員懇談会に出席(同12日)
- 「設置基準をいかし特別支援学校の教室不足解消を求める請願署名」提出院内集会で挨拶(同14日)
- 西中間ヒサエ事務所開きで挨拶(同16日)
- 米軍廃棄物が人権を侵す・判決後院内集會に参加(同18日)
- 宮里たけし事務所開きで挨拶(同22日)
- 我如古イチロー、上原やすお事務所開きで挨拶(同23日)
- 自衛隊のハラスメント根絶プロジェクト院内集會に参加(同27日)
- うるま市長選予定候補・照屋タイガ政策発表記者会見に参加、うるま市石川での日本共産党と後援会の決起集會で挨拶、フルゲン茂治、マエダちひろ事務所開きで挨拶(同29日)
- 辺野古ゲート前県民大行動に参加(4月5日)
- 宮里たけしと那原町議選予定候補の街頭演説会で応援演説、照屋タイガうるま市長選予定候補の街頭宣伝で応援演説(同12日)
- 照屋タイガ必勝街頭演説会に参加(同13日)



壇上に並ぶ予定候補者と小池書記局長

参院選での比例5議席確保と沖縄選挙区での「オール沖縄」の勝利、那覇市議選必勝へ向けて、日本共産党沖縄県委員会は4月6日、那覇市内で演説会を開きました。小池晃書記局長、白川よう子比例候補、那覇市議選で再選を期すフルゲン茂治、ワク川朝渉、我如古イチロー、マエダちひろ、西中間ヒサエ、上原やすおの6市議らがそろい踏み。与那原町議選(15日告示、20日投開票)に立候補予定の宮里たけしさん、うるま市長選(20日告示、27日投開票)と同時に行為れる市

議補選に立候補予定の玉城ナオキさんらが決意表明を行いました。那覇市では、この4月から学校給食費が中学校では無償、小学校では半額になりました。上原市議は「デニー知事の公約実現と県民の運動、そして党那覇市議団の追及が政治を変えた。全員当選で小学校も完全無償化をめざそう」と訴えました。演説会には、うるま市長選に「オール沖縄」から立候補予定の照屋タイガさん、参院沖縄選挙区に立候補予定の高良さちかさんがメッセージを寄せました。

参議院選挙区「オール沖縄」と比例5議席、那覇市議選6人必勝へ

「フエイクニュースに近い」



中谷防衛相を追及する赤嶺議員

中谷防衛相が旧日本軍第32軍牛島満司令官の「辞世の句」を「平和を願う歌」と述べたことに対し(4月18日衆院安保委)、識者から批判が出ています。防衛ジャーナリストの半田滋さんは、「辞世の句は、平和を願う歌ではない」「自衛隊にとつて都合の良いように切り取って解釈するフエイクニュースに近い」。「沖縄戦や日本軍について歴史をねじ曲げる歴史修正主義で、現役の防衛相として致命傷になりかねない発言だ」と批判しています。

石破首相・中谷防衛相発言に識者・女性団体から批判

(『琉球新報』4月23日)。

「ストレスを女性に向ける軍隊の体質だ」

今年に入り2件の米兵による性暴力事件が起こったことが報じられました(4月24日)。「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」(会員で沖縄女性史家の宮城晴美さんは、「単なる性的欲求というよりも、厳しい訓練や階級社会の中でたまったストレスを女性に向ける軍隊の体質だ。沖縄差別に加え、女性への差別を感じる」と厳しく指摘しています(『沖縄タイムス』4月24日)。

まさしく「米軍が駐留することによって犯罪が起こっている」という因果関係を感じ上げない(2月26日衆院予算委)と発言した石破首相への痛烈な批判と言えます。